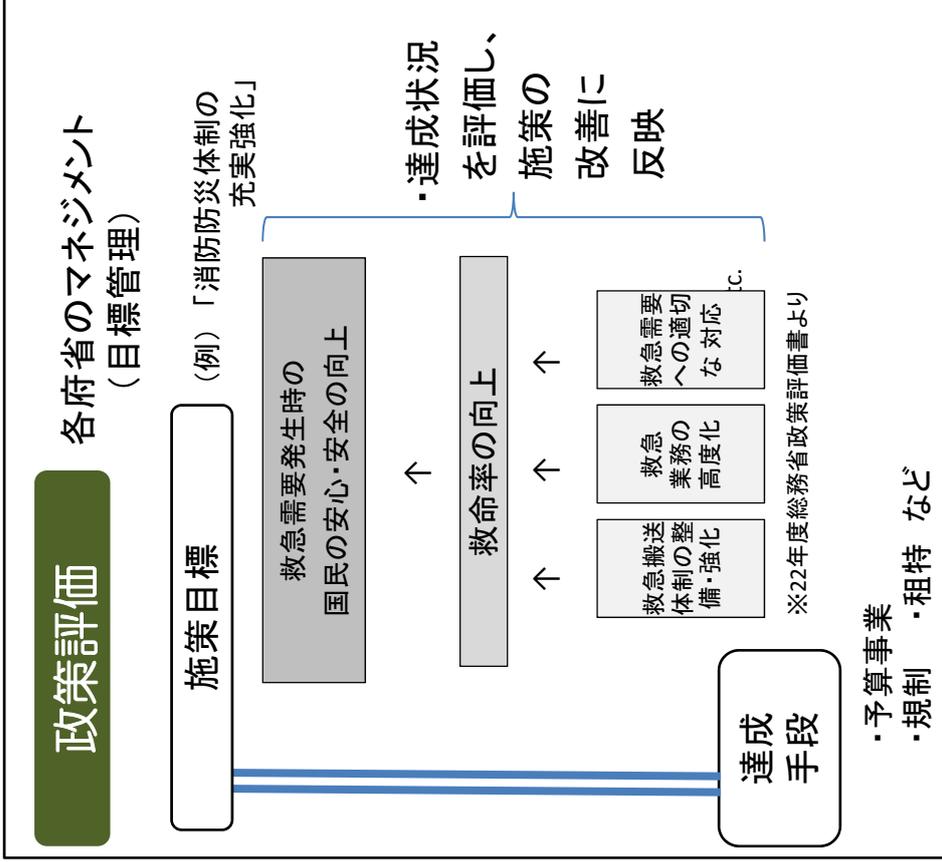
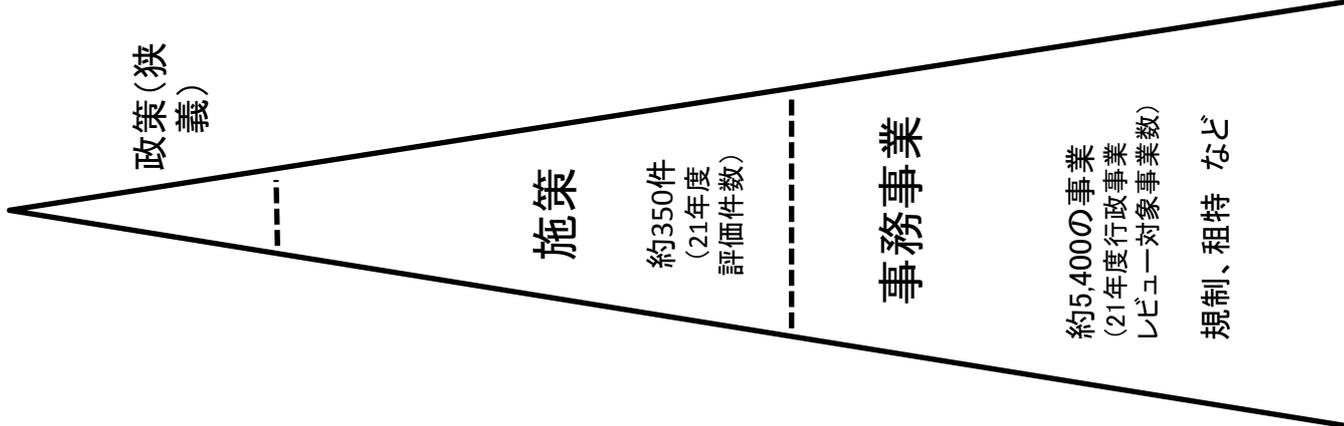


政策評価と行政事業レビューの主な役割等

H23.3.2行政刷新会議資料



政策評価の特質・課題、改善の方向性

《特質》(本来想定していた効果)※

- ミッションの明確化・体系化(各府省の施策全体をカバーして目標設定)、達成状況の確認
- ⇒ PDCAサイクルを通じたマネジメントの向上、説明責任の徹底

※いわゆる目標管理の手法を用いる政策評価についてのもの

《現状と課題》

- 焦点が絞りきれおらず、重要な情報も埋没しがち
 - 府省、施策ごとに実施方法は区々(政府全体の俯瞰や府省横断的な施策への活用が困難)
 - 施策の達成手段やそのコストについての情報が不十分
- (事務事業全体のカバーには相当量の行政コストが必要。一方、一部のみとすると体系性が欠如)

《行政事業レビューとの役割分担、有機的連携に向けた改善の方向性》

- メリハリのあるわかりやすい政策評価を推進
- 事務事業レベルまで含めた政策の体系化、一覧性の確保
- ⇒ 政務三役によるマネジメントに活用し、政府のPDCAサイクルを適切に機能

行政事業レビュー

- ・ 予算の支出先や用途等の実態を把握
- ・ 税金投入の効率性や効果の面から事業を検証